

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 商業販売統計(2010年3月)

発表日2010年4月28日(水)

～1-3月期の個人消費は高い伸びを維持～

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 エコノミスト 岩田 陽之助

TEL: 03-5221-4525

(単位: %)

		商業販売額		卸売業		小売業		コンビニ販売額					
								大型小売店		百貨店		スーパー	
		前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	既存店 前年比	既存店 前年比	既存店 前年比	前年比	既存店 前年比
08	7-9月期	5.0	0.4	6.2	0.3	0.8	0.3	▲0.9	▲2.0	▲3.2	▲1.3	9.2	7.6
	10-12月期	▲7.1	▲9.6	▲8.7	▲11.7	▲1.5	▲1.2	▲3.2	▲4.6	▲7.8	▲2.4	8.9	6.9
09	1-3月期	▲20.6	▲12.1	▲25.2	▲15.4	▲3.9	▲1.6	▲5.6	▲7.2	▲11.1	▲4.6	6.3	4.2
	4-6月期	▲23.4	▲3.5	▲28.9	▲4.5	▲2.8	▲0.1	▲4.9	▲6.6	▲10.8	▲4.1	3.4	5.2
	7-9月期	▲22.8	▲0.6	▲28.3	▲1.0	▲1.9	0.9	▲5.5	▲7.0	▲9.8	▲5.4	▲3.5	6.2
	10-12月期	▲14.9	▲0.2	▲19.3	▲0.4	▲0.7	▲0.1	▲6.4	▲7.0	▲8.8	▲5.8	▲3.1	7.2
10	1-3月期	▲0.8	3.0	▲2.4	2.9	3.7	2.7	▲4.3	▲4.9	▲4.9	▲5.0	▲2.3	8.2
08	7月	9.0	3.3	11.0	3.9	2.0	0.2	0.2	▲0.7	▲2.3	0.5	13.3	11.5
	8月	2.9	▲3.3	3.5	▲4.1	0.7	0.2	▲1.0	▲2.2	▲2.9	▲1.8	6.7	5.1
	9月	3.3	▲2.8	4.2	▲3.5	▲0.3	0.0	▲2.1	▲3.3	▲4.6	▲2.6	7.5	6.4
	10月	▲1.1	▲1.6	▲1.2	▲1.5	▲0.7	▲0.6	▲2.9	▲4.3	▲6.9	▲2.6	9.8	7.9
	11月	▲8.6	▲4.8	▲10.7	▲6.3	▲0.9	▲0.2	▲1.7	▲3.1	▲6.3	▲0.7	9.1	7.2
	12月	▲11.2	▲6.7	▲13.8	▲8.5	▲2.7	▲1.7	▲4.8	▲6.2	▲9.6	▲3.6	7.8	5.8
09	1月	▲15.5	▲1.5	▲19.5	▲2.1	▲2.4	0.1	▲3.8	▲5.5	▲9.2	▲3.1	8.8	6.8
	2月	▲21.5	▲3.9	▲25.7	▲4.7	▲5.7	▲0.3	▲6.6	▲8.1	▲11.4	▲6.1	4.0	2.0
	3月	▲24.0	▲7.4	▲29.2	▲9.5	▲3.8	▲0.8	▲6.7	▲8.2	▲12.9	▲4.9	6.1	3.9
	4月	▲22.4	4.0	▲27.8	5.4	▲2.8	0.5	▲5.0	▲6.7	▲11.3	▲3.9	6.5	4.0
	5月	▲24.3	▲0.7	▲30.4	▲1.3	▲2.7	0.1	▲4.5	▲6.4	▲12.1	▲3.0	3.1	0.8
	6月	▲23.3	▲1.3	▲28.7	▲1.3	▲2.9	▲0.1	▲5.2	▲6.8	▲9.1	▲5.4	0.9	▲1.7
	7月	▲24.0	1.6	▲29.8	1.9	▲2.4	0.4	▲7.0	▲8.4	▲11.8	▲6.0	▲5.1	▲7.5
	8月	▲22.4	▲1.5	▲28.0	▲2.2	▲1.8	0.5	▲5.0	▲6.8	▲8.9	▲5.7	▲3.0	▲5.6
	9月	▲22.0	▲0.5	▲27.1	▲0.2	▲1.3	0.6	▲4.2	▲5.6	▲7.8	▲4.3	▲2.4	▲5.7
	10月	▲19.2	0.6	▲24.2	0.6	▲1.0	▲0.6	▲6.4	▲7.2	▲10.6	▲5.2	▲2.9	▲5.6
	11月	▲14.6	0.1	▲18.7	0.0	▲1.1	0.0	▲9.0	▲9.7	▲11.8	▲8.3	▲3.6	▲6.4
	12月	▲10.9	▲0.1	▲14.6	▲0.5	▲0.2	▲0.3	▲4.2	▲4.6	▲5.1	▲4.3	▲2.8	▲5.7
10	1月	▲3.8	6.4	▲6.1	7.7	2.3	2.0	▲5.1	▲5.7	▲5.7	▲5.7	▲2.5	▲5.5
	2月	▲0.9	▲2.6	▲2.7	▲3.2	4.2	0.9	▲3.4	▲4.0	▲5.3	▲3.3	▲1.8	▲4.9
	3月	2.0	▲4.5	1.1	▲6.2	4.7	0.8	▲4.2	▲5.0	▲3.6	▲5.8	▲2.4	▲5.1

(出所) 経済産業省「商業販売統計」

○3ヶ月連続での増加

経済産業省から本日公表された10年3月の小売業販売額は前年比+4.7%となり、事前の市場予想(前年比+3.6%、レンジ同+2.4%～同+4.8%)を上回った。季節調整値でも前月比+0.8%と、3ヶ月連続の増加となっている。後述の通り、今月の結果は機械器具小売業の特殊要因によって押し上げられている面もあるが、他にも改善傾向を維持する業種が多く、個人消費が徐々に明るさを取り戻しつつあることを感じさせる内容となっている。

内訳を見ると、機械器具小売業が前月比+6.9%(寄与度+0.4%)と大きく増加した。4月からエコポイントの対象が変更されることに伴い、駆け込み需要が発生したものと考えられる。実際、経済産業省から発表されたエコポイントの申請件数を見ると、3月は約226万件と2月(約157万件)から大きく増加している。もっとも、このような特殊要因に限らず、今月は他の業種においても増加傾向を維持したものが多い。飲食料品小売業(前月比+0.9%、寄与度+0.3%)、織物・衣服・身の回り品小売業(同+0.9%、寄与度+0.1%)、自動車小売業(同+1.0%、寄与度+0.1%)などが増加している。

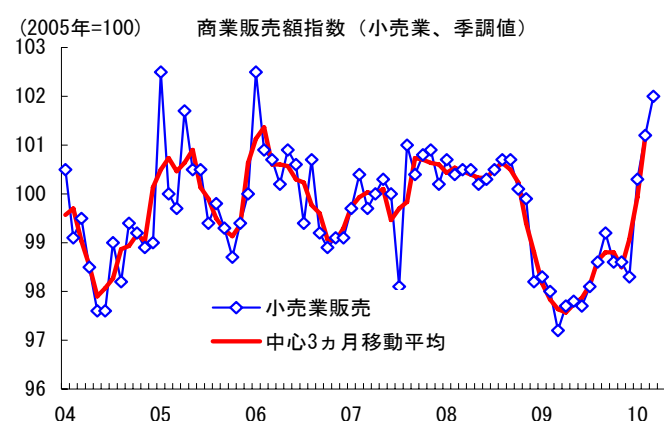
3月は日曜日が前年に比して一日少ないことや、3月下旬に気温が低下したことなどのマイナス要因もあ

ったが、他の個人消費関連指標でも良好な結果を示すものが多い。景気ウォッチャー調査においても、明るいコメントが見られるなど、個人消費を取り巻く環境は、徐々に変化の兆しが見え始めている。百貨店販売統計においても、「高額品に動きが見られる」などの指摘がなされている。①雇用・所得環境が最悪期を脱したこと、②株価上昇によるマインド改善や、③長引く節約生活への疲れなどから、これまでの購買行動に変化が生じ始めているようだ。

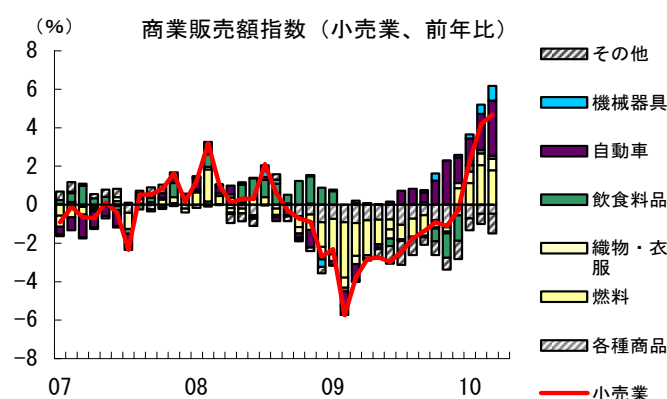
これで1－3月期の小売業販売額は、前期比+2.7%と大幅な増加となった。従前の予想を上回る、かなり良好な結果と言える。3月分の家計調査の結果も確認する必要があるが、個人消費が1－3月期も高い伸びとなった可能性は高い。

○先行き個人消費が景気回復の牽引役となることは期待しがたい

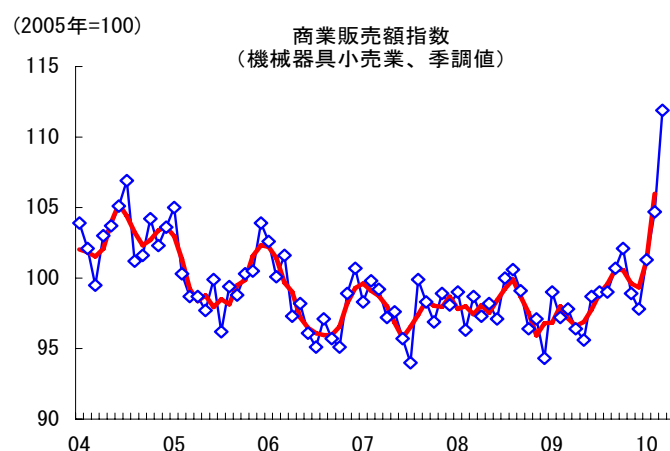
個人消費は当初予想されていたよりも堅調に推移しているが、個人消費を取り巻く各種環境を見るに、先行き個人消費が景気回復の牽引役となることは期待しがたい。マインドが改善していることや4月から各種家計支援制度が始まることなどのプラス材料もあるが、エコカー減税やエコポイントなどの対策効果は、先行き徐々に減衰していくと思われる。乗用車の販売台数は既に頭打ち傾向にあるほか、家電販売も4月以降は反動減を避けられないだろう。また、春闘でも示された通り、企業の人件費削減意欲は強く、雇用・所得環境の明確な改善は期待しがたい。雇用・所得環境の回復の足取りが重い中、先行きの個人消費の回復ペースも緩やかなものに止まる公算が大きい。



（出所）経済産業省「商業販売統計」



（出所）経済産業省「商業販売統計」



（出所）経済産業省「商業販売統計」